

今年は梅雨が長く、短い夏もあっという間に終わってしまい、暦の上では早くも秋を迎えてしまいましたが、皆様はこの夏いかがお過ごしでしたか。

さて、恒例の夏祭りが去る 7 月 29 日(土)に行われましたが、その日は前日につくったステージも虚しく、雨に見舞われてしまいました。しかし、そんな悪天候にもめげることなく、職員一丸となり室内にみごとなステージと屋台を設置しての開催となりました。いつもは静かな室内も、浴衣や甚平を身にまとった司会者、ちょうちんや七夕飾りによって会場内は一気に華やかな夏祭りの雰囲気となりました。

まず始めに夏祭りのスタートをきっていただいたのは、民謡大会各種の行事をはじめ、これまでの出演回数はなんと 200 回を超えるベテランの「真喜太鼓瀧心会」の皆様でした。その太鼓は女性の方だけの会とは思えないほどの迫力で会場内からは「やはり、お祭りには太鼓だね」「太鼓もすごいけど衣装も凝ってるね」等の声が聞かれ、たくさんの拍手が送られました。

太鼓に続いて夏祭りを盛り上げていただいたのは、なるこを片手に粋なよさこい踊りを披露してくれた「華 . from KAMI」の皆様でした。2003 年 4 月に結成され、比較的新しいチームの方々ですが、5 歳のかわいらしいお子様から社会人まで幅広い年齢層で構成され、各地のよさこい踊りで大変ご活躍されています。アミスタ夏祭りでは昨年につき黒いハッピーの背中にはあでやかな刺繍をほどこし華麗に踊る姿に会場中から思わず「かっこいい!!」という歓声があがっていました。又、近くにいたお子さんも思わず一緒になって踊る姿もみられ、とても盛り上がっていたようでした。

慰問最後のグループの方々には「大衝村フラダンスサークル・ハイビスカス」の皆様によるフラダンス、沢山の曲と途中で衣装を変えて踊ったりと、ハワイアンムードたっぷりの楽しいフラダンスでした。利用者の方の中にはゆらゆらと一緒に踊っている姿もみられ、南国の雰囲気を味わうことができたのではないのでしょうか。

慰問の間には抽選会が行われました。今年は特賞が数本用意されており、豪華(?)な景品が渡されると、当選された方は満面の笑顔で受け取られておりました。又、3 階フロアには模擬店があり、ヘリウム風船とお菓子釣りゲームが用意され、お菓子が取れるだけでなく可愛い景品が当たることもあって大勢の子供達でにぎわい大反響となりました。そして屋台にも美味しそうな匂いに沢山の人が集まり、皆様から大変好評だったようです。それに、久しぶりに家族や孫と一緒に食事が出来たことで、一段とおいしさも増し、笑顔が多く見られてました。

最後には、余興として職員が水戸黄門の曲に合わせて踊りを披露しました。弱々しい踊りをしていた主役が、突然印籠を出すと周りの職員がひれ伏していたので、会場内は大爆笑となり、利用者からアンコールの声が上がる程盛り上がっていました。こうした中、楽しい夏祭りも終了となり、利用者、職員共々有意義な時間となったようでした。

今年もお忙しい中ご来場頂いた御家族の皆様やご協力頂いたボランティアの方々に支えられ、無事夏祭りを終了できたことを、アミスタ職員一同心より感謝致しております。本当にありがとうございました。



職員による
水戸黄門

その時の写真です!

アミスタからのお知らせ

1. 9 月の行事と致しまして、19 日に「古川民謡愛好会」の方々をお招きして、『敬老会』を行いますので、お楽しみに!
2. 次回のアミスタ新聞は、10 月号になります。